

2026年度

事業計画書

事業所・委員会名

琴浦園

策定者 ミドルマネージャー 杉原弘茂

1. 2030年度ビジョン

法人共通	モラル・教養・技術を兼ね備えた職業人集団（プロフェッショナル）となり、地域から最も信頼される福祉ブランドを確立する
事業所	認知症・精神疾患にあった適切な対応と言葉使いができる職員となり、琴浦園の認知度を高め、地域のセイフティーネットとしての役割を果たす。

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、これをユニットや職種やクラスなどチーム単位に分解する想定。

2. 前年度の振り返り

強み・得意／弱み・問題	利用者と協力できる・新しい土地でチャレンジし易い／知的障害や認知症の理解が低い・適切な言葉使いができていない
機会・ニーズ／脅威・競合	倉敷市に2つしかない施設であり、保護や避難のニーズに対応／行政による措置控え

作成上の注意) 聞いた人が中身をイメージできること、1行にまとめてもOK

3. 当年度の戦略目標

戦略の柱	現状 (ビジョンに対する課題・問題点)	成果目標 (事業所の定量目標)	行動項目 (項目4に分解する)
(1) 組織風土変革 ・規則等理解、ABCDの状況 ・関係の質の状況 ・言葉づかい、服装、マナーの状況 ・職員同士の協力体制の状況	・なれなれしい言葉使いが見られる ・各職種の業務内容について共通理解が少ない	・職員のため口をなくす ・協力して業務を進められる意識作り	・各会議での確認と注意喚起を継続して実施 ・各職種の業務棚卸と整理を進める
(2) 人材育成 ・職員の資格保有の状況 ・職員の常識・業務知識・技術の状況 ・現場のOJT体制の状況 ・職員のモチベーションの状況	・認知症・知的障害の理解が低い ・新人教育が各職員任せである。	・基礎的な知識の再習得 ・職員の定着率の維持・向上	・各年2回の勉強会を実施する ・業務の細かいマニュアル作り
(3) サービス品質向上 ・サービス提供時間の状況 ・業務効率化、標準化の状況 ・利用者やご家族の満足度の状況 ・苦情や事故、その対応の状況	・各時間で職員数のバラツキが大きい	・10時間労働で業務が円滑にまわる	・10時間労働の不具合等の洗い出し 修整
(4) 経営基盤強化 ・事業収支の状況 ・稼働率の状況 ・施設・設備の状況 ・事業所固有のリスクの状況	・外部サービス型だと収益が頭打ちである ・措置控えによる稼働率の低下の可能性がある ・職員の養護と特定施設の理解がない	・一般型の運営を軌道にのせる ・稼働率99%以上の維持 ・重度な方の介護の継続	・一般型特定施設へのスムーズな移行 ・ほのぼのの調整作業等の実施 ・各支援センターへのあいさつ回りの実施 (児島・倉敷・水島) ・養護と特定施設の理解を深める
(5) 地域支援強化 ・法人地域支援活動への参加の状況 ・地域住民からの認知度の状況 ・拠点独自の支援活動の状況	・琴浦園の認知度は低い ・現在は実施していない	・すこしづつ琴浦園を認知してもらう ・小学校のプール掃除に参加 ・星を見る会のお手伝いに参加	・地域の学校などと交流会を行う ・小学校・町内会と調整をすすめる

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語(何、誰など)を明確にする

事業所内標語

スローガン	思いやりと協力で、選ばれ続ける琴浦園へ
-------	---------------------

事業所の職員全員で取り組むものを、わかりやすいことばで表せるならグッドです！

4. 年間行動スケジュール

	戦略行動項目 (前掲項目3との関係をカッコ記載)	定例業務	法定研修・訓練 (参加者、人数、立合有無等をカッコ記載)
4月	知的障害者研修(外部講師)(2) 養護と一般型特定施設の説明(4) 10時間勤務スタート(3)	会議:部門別 介護員 看護 相談 役職(月1回)(1)(2)(3) 委員会:安全衛生 身体拘束虐待 ポイント 事故予防 処遇 感染症 生産性向上 (月1回)	緊急時の対応に関する研修
5月	緑ヶ丘小プール掃除手伝い5月末(5) 支援学校喫茶(琴浦園認知度向上)(5) 認知症研修(各認知症の原因と特徴)(2)	BBQ	認知症研修(各認知症の原因と特徴)
6月		ビザつくり	虐待防止勉強会 身体拘束勉強会
7月	支援学校喫茶(琴浦園認知度向上)(5)	七夕かき氷会	BCP勉強会(災害) BCPシミュレーション(災害時の通勤通路)
8月	星を見る会(5)		ハラスメント研修
9月	支援学校喫茶(琴浦園認知度向上)(5)	敬老祝賀会	火災避難訓練(立ち合いなし)
10月	保育園交流会(琴浦園認知度向上)(5) 認知症研修(中核症状と周辺症状について)(2)	マニュアル作り完了	認知症研修(中核症状と周辺症状について)
11月	夕涼み会(地域開放)(5) 支援学校喫茶(琴浦園認知度向上)(5)	サンマ焼き・豚汁・焼き芋会	BCP勉強会(感染症) BCPシミュレーション(感染症) 感染症および食中毒の発生の予防に関する研修
12月		年忘れ会	プライバシー保護に関する研修 倫理・法令遵守に関する研修
1月	支援学校喫茶(琴浦園認知度向上)(5)	新年祝賀会 餅つき大会(汁粉・雑煮)	事故の発生、予防、再発防止に関する研修
2月	知的障害研修(2)	節分会	虐待防止勉強会 身体拘束勉強会
3月	支援学校喫茶(琴浦園認知度向上)(5) 認知症研修(2)	ひな祭り会	火災避難訓練(夜間)(立ち合いなし) 認知症研修

作成上の注意) 文章にしない、箇条書きにする、数値化する、主語(何、誰など)を明確にする

5. 当年度の収支計数・前提条件

収支計数		前提条件	
目標事業活動収入	193,199千円	施設定員	60人
目標稼働率	99.16%	平均利用者数(年間営業日数平均)	59.5人
事業活動支予算額	182,558千円	単位/1利用者あたり収入	8,789円
目標事業活動資金収支差額	10,640千円		
稼働率: 入所・デイ・保育: 期間中延べ利用者数 ÷ (営業日数 × 1日の利用定員)		重点加算(=事業所サービスの特徴)	処遇改善加算 I
訪問: 期間中サービス提供時間数 ÷ 期間中勤務延べ時間数			サービス体制強化加算
単位: 1営業日あたりの数値		自事業所の戦略人材とは?	適切な対応言葉使いができる人材